

岩内港で初の大規模地震・津波総合防災訓練を実施しました ～令和元年度 岩内港大規模地震・津波総合防災訓練～

北海道開発局 小樽開発建設部

令和元年7月27日(土)、特定地域振興重要港湾*
岩内港では初となる大規模地震・津波総合防災訓練を
実施しました。訓練には、北海道胆振東部地震で被災
者の支援活動を行った北陸地方整備局大型浚渫兼油回
収船「白山」を始めとして、19の機関・団体から200
名を超える参加者がありました。

渡邊小樽開発建設部長から訓練開始の宣言、上岡岩
内町長、堀田国土交通省大臣官房技術参事官(港湾局
担当)より開会挨拶ののち、来賓でお見えになった衆議
院議員中村裕之先生、佐藤英道先生、参議院議員横山
信一先生よりご挨拶をいただき訓練を開始しました。



開会式の参列状況



上岡岩内町長 開催挨拶



堀田技術参事官 開催挨拶



(来賓挨拶)衆議院議員 中村裕之先生



(来賓挨拶)衆議院議員 佐藤英道先生



(来賓挨拶)参議院議員 横山信一先生

訓練は、北海道南西沖を震源とするマグニチュード
7.8の地震が発生し、岩内町で震度5強の強い揺れが
発生。直後に大津波警報が発表され、最大4.7mの津
波が来襲、その後津波注意報に切り替わり、津波注意
報も解除された状況という想定で、①避難訓練、②緊
急支援物資輸送訓練、③被災状況調査訓練、④漂流者

搜索・救助訓練、⑤広域海上点検訓練、⑥油拡散訓練、
⑦油回収訓練の7項目の訓練を予定しておりました。
訓練当日は強風に見舞われたため、広域海上点検・油
拡散訓練はVTRにて紹介、油回収訓練を中止としま
したが、各関係機関・団体による迫力のある訓練が展
開されました。



①避難訓練



②緊急支援物資輸送訓練



③被災状況調査訓練



④漂流者搜索・救助訓練



⑤広域海上点検訓練（VTR を上映）



⑥油拡散訓練（VTR を上映）



⑦油回収訓練（悪天候のため中止）



魚住港湾空港部長 講評

訓練後、魚住北海道開発局港湾空港部長から「特定地域振興重要港湾「岩内港」は、平成5年の北海道南西沖地震で実際に被害を受けた。岩内港で大規模な総合防災訓練を実施するのは初めて。机上ではなく現地で車両・船を使い訓練ができたことは重要なこと。関係機関が一同でシナリオを作り上げ、連絡体制を確認し、取組んだことは非常に意義あった。多くの方にご参加いただき無事に訓練が終了したことに感謝する。」との講評をいただき、無事訓練を終了することができ

ました。

今後も、より一層の安全・安心な港湾活動の実現に向けて、関係機関・団体の相互協力体制を強化して、災害時に連携して迅速な対応ができるよう努めてまいります。

また、大型浚渫兼油回収船「白山」にて、訓練開始前には国会議員等を対象とした内覧会、訓練終了後の午後からは、船内の一般公開が行われ、一般公開には100名以上の方々が見学しました。



内覧会での「白山」船長の説明



「白山」船内の一般公開の様子



※特定地域振興重要港湾

平成12年5月に国土交通省港湾局が地域の振興に重要な役割を果たすことが期待される地方の港湾として全国で13港を選定しました。北海道内では唯一、岩内港が選定されています。